

くすりの規制緩和

これまで、薬は薬剤師のもとで管理され、販売されるようになっておりました。そして、販売する時にはきちんと説明をして販売することに指導監督してきた国が少々変な結論を出したようです。

規制緩和の一つとして、薬の一部がコンビニなどで販売されることになるという話だったようですが、普通の商品と違い、危険な掛けをしたように思います。

安全な薬と言っても、全く副作用を心配しなくともいいのでしょうか。薬である以上、効き目と副作用は常に表裏一体です。ほとんど安全だから、単に便利だからとコンビニから買って使うのははなはだ危険なことのように思えてなりません。

国の規制緩和理由は、例えば風邪を引いた時には薬を夜中でも変えるようにコンビニにでも買えるようにしたいというのですが、便利さだけを追求する前に、自分の健康のため薬剤師と相談して備えておくこと、それを使用しても改善が無い場合は医療機関をたずねるような指導をもっと徹底するべきだと考えます。

規制緩和という一見進歩的なイメージに隠された将来に不安を感じた薬剤師の独り言です。